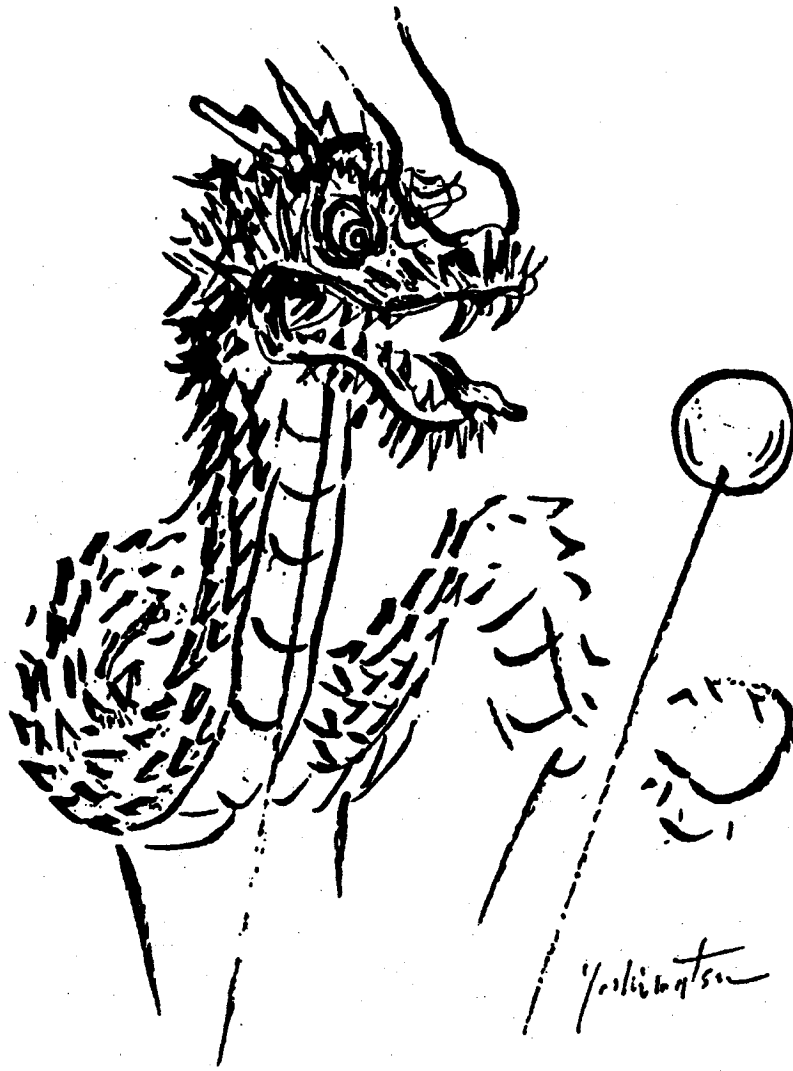


いしだたみ



長崎南高関西同窓会報 VOL. 5

▷ 第5号発行の挨拶 ◁

会報誌の発行も早いもので5回目を迎えました。原稿収集や、内容の吟味で真剣に討論しながら発行に到る過程は、まことに感動的であります。故郷の情報を生きた形で伝える喜びを感じつつ、より中身の濃い、あたたかい雰囲気や率直に伝えられるかが、キーポイントでもあります。「継続は力なり」この明言を実証すべく、会員全てがこの会報誌を愛し、育てて欲しいと切に希望しております。

長崎南高関西同窓会総会ご案内

第4回総会を下記の通り開催致します

長崎南高関西同窓会総会も、回を重ねる毎に定例化し、内容も充実してきました。今年も第4回総会を計画しました。総会毎に繋いだ輪を今年もますます広げようではありませんか。多数の同窓生の参加をお願いします。今年は参加者の出番を増やしたいと思います。

- ◇と き …… 平成6年9月15日(木) 敬老の日 12:00~16:00
- ◇と ころ …… コミュニティプラザ大阪(3Fホール)
 福島区福島3丁目1-73 } ※詳細は下図を参照
 ☎06-454-1153(代表)
- ◇かいひ …… 男性 10,000円
 女性 8,000円 } 年会費2000円を含みます。
 学生 5,000円
- ◇招待恩師 …… 樋室 照男先生(英語科) 在校 S. 39~51
 田中 正明先生(国語科) 在校 S. 36~50

《総会会場》



・JR福島駅から徒歩10分 ・阪神福島駅から徒歩10分 ・地下鉄肥後橋駅から徒歩10分

<< 平成 5 年度活動報告 >>

第 3 回 総会 開催

平成 5 年 9 月 5 日「コミュニティープラザ・大阪（福島）」にて同窓生 130 名の参加のもと盛大な集まりがもたれました。今回初参加の人達も多数集まり、時の経つのも忘れ楽しい一日を過ごすことが出来たと思います。平吉先生を始め、各地同窓会、長崎県人会、大阪長崎県事務所からの来賓も華をそえました。

幹事会

平均月 1～2 回の幹事会を開催。
平成 5 年 12 月 8 日、法善寺横町「角力茶家」にて幹事忘年会。
平成 6 年 1 月 21 日、福島「コミュニティープラザ・大阪」にて幹事新年会。
平成 6 年 2 月 26 日、福島「コミュニティープラザ・大阪」にて理事会。

会報誌

平成 5 年 7 月、「いしだたみ第 3 号」発行。
平成 5 年 12 月、「いしだたみ第 4 号」発行。

ゴルフ大会

平成 5 年 4 月 16 日、各回生幹事ら 11 名の参加のもと旭国際東条 C.C. にて行われ、前原晃昭氏（2 回卒）がグロス 93 で優勝しました。

はた揚大会

平成 5 年 5 月 16 日、豊里大橋川原にて「長崎県人会」主催のはた揚大会に参加。総勢 40 名の盛会。

組織人員

長崎南高関西同窓会（近畿圏内）総会員数、約 900 名。

年会費

年会費 2000 円の振込を依頼、現在までに 232 名（総会参加者含む）の振込があります。今回の会報の発行及び同窓会の事務費として最重要財源です。

「ハタ上げ大会に参加して」

初夏を思わせるような暖かい日曜日。わが家のアイドル、長女・佑季を連れて「ハタ上げ大会」会場へ向かった。駅を出て川原付近を見上げると、無数のハタ・ハタ・ハタ……。故郷の山を見るようなうれしさと足取りも軽く会場入りした。開始時間に大幅に遅れたため、残念ながらハタ上げはできなかったものの、あちこちでハタを上げる楽しそうな人達を見、なつかしいコマ回し大会等、大阪の地で飛び交う長崎弁も

心地よく、めったに帰ることのできない長崎がむこうから来てくれたようでとてもうれしかった。まだ遊べない娘だが、会場となった河川敷は広々と気持ちよさそうで、本当に参加してよかったと思った。

子供連れでは行くところが限られてしまうので、今回のような家族共々の同窓会はありがたい。ぜひ今後もこういう形での会を希望したい。参加者ももっと増えるのではないだろうか。

堀 勇三（14 回卒）

◇ とりとめのない話 ◇

石野 智恵 (旧姓・柿原 11回卒)

それは、ある日の夕方の電話から始まりました。「長崎南高の11回生の〇〇ですが・・・、じつはお願いしたいことがあって(ドキッ)先輩から頼まれたんだけど、ほらっ同窓会報の”いしだたみ”それに今度11回生の原稿があるんだって、それでね・・・書いてくれないかな(エー)なんでもいいんだって、テーマもなんにもないし・・・(エー私が・・・)」気が付くと「じゃー考えてみるけど」「よかった、ごめんね無理言って、また電話するわ」

どうしよう何を書いたらいいのか、頭の中は大混乱。そういえば学校を卒業して20余年、その間文章を書くという作業にとんと縁がないまま過ごしてきたのですから。

それから夜になると(昼は結構忙しくてすっかり忘れてる)結構いろいろなことが浮かんでくるんです。体育大会の前になると放火後の教室でおっきな応援旗を作って、その時食べた”ピケ8”がおいしかったとか、からくに岳登山じゃない普通の修学旅行にも行ってみたかったとか、長崎ではめずらしく雪が積もった日があって、当然バスは動かなくて、みんなあの丘の上の学校まで苦労して登ったとか、あの頃はフォークソングの全盛期で井上陽水、加川良、斉藤哲夫なんてよく聞いたしガロとかグレープのコンサートも行ったな等ととりとめのないことが・・・、こんなではいかん、いかんと思いつつすっかり思い出に浸ってしまいまして、その結果がこのまとまりのない文章なのです。貴重な紙面を無駄にしまして申し訳ないな一と思いつつも、懐かしいひとときを楽しんでしまった私でした。

最後にこのような機会を作ってくれた長田さん(旧姓 広瀬さん) ありがとう。でも今度は貴方の番ですよ!!

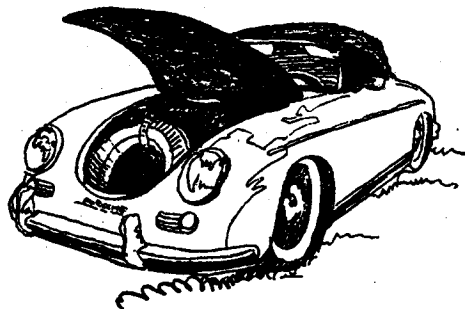
◇ 古い車 ◇

(機)ダダ 山尾 博(5回卒)

40歳になって初めて車を所有した。19歳で運転免許を取得したのだが、訳があり23歳の時に免許を返上した。警察はあぜんとしていた。その時は以後車に乗るまいと決めていた。ところが4年前に不便な所へ引越し、それを機に免許の再取得をせねばならなかった。もともとは車は好きだったので、免許を返上していた時期は乗りたい気持ちをことさら押さえつけていた。そのためか昔走っていた車が妙に気になる。30年前の車を街で見かけると頑張れよと声を掛けたくなる。日野コンテッサ、いすず117クーペを自分でかわいがってやりたいと思っている。

現在の車の方が総合的には評価は高い。しかし私の気持ちを引き付けるものがほとんどない。これらの古い車は、デザインは今でも古く感じさせないし、丈夫な鉄板を使っているのでいかにも長持ちしそうである。現在の車は私をスピード狂に変えてしまうが、これらの車だとスピードを出そうという気持ちを起こさせないと思う。丁寧に乗りたいと思う。古い車は自分でエンジンをいらってやることできるが、現在の車は電子部品に囲まれブラックボックスと化して素人では触れない。

妻も私に影響されたのか、プルシェ356BやVWカールマンギアという古い車がいいという。私はそれらにはあまり興味はない。むしろ「プロ写真術II」で日沖さんが書かれていたパナール社のPL17(1963年製)



を見てみたいものだ。848ccの水平対向2気筒エンジンの車だから現在に通用しないと思われがちだが、氏によると高速道路でも通用すること。すると現在の車づくりは一体何なのであろうと考え込んでしまう。案外底の浅いものかもしれない。

いやいや自分のいるソフト業界を見れば、きれいごとをいってはおれない。ハードもソフトも強制的に陳腐化させることによって商売が成立している側面がある。技術の進歩でとか改良によって、という甘いオブラートに包まれているので気がつかない。悲しいかな、古い車は使いようがあるが、15年前の古いコンピュータとソフトは歴史的遺物でがらくたでしかない。そんな業界に身を寄せているので、価値を持ち続ける古い車、古いカメラや真空管アンプが気になるのが本当のところであろう。

◇ 心はいつも長崎弁 ◇

田中 洋子(旧姓・長瀬 10回卒)

今、関東支部は7月2日に開かれる総会にむけて準備の真最中です。私達10回生は幹事の学年ということで、11回生と共に世話役の方々には忙しそうです。私はいえ、中学生から幼稚園までの4人の子供の母親業で大忙しの毎日で、この頃やっと年一回の総会にも楽しみに出席できるようになりました。同窓会がなければ、おそらく会う機会はなかったでしょう卒業以来の友人たちとの再会は、高校生の頃とは全く違う一面を見たりして、とても楽しいものです。それぞれにみんな立派な40才になっているのですが、気持ちはすっかり高校生に戻って、どういわけか私は長崎弁になってしまうのです。

大学入試の年に東京に住んで以来、長崎を離れてからの方が長くなり、毎日の生活では長崎弁を使うことはほとんどないのですが、りっぱに覚えています。というよりも、年毎に融通がきかなくなってきたのでしょうか。そんな自分に、半面あきれながら、半面ではだからこそ故郷はいいのだと思っています。

この原稿の依頼も、K君からの突然の電話だったのですが、K君だとわかると気持ちはすっかり高校生になってしまって、べらべらと方言で喋りまくり、無口(?)な彼も仕方がなく、つられて相手をしてくれたのですが「しまった!会社からだったのだ。」と途中で気が付いてももう後のまつり。電話を切った後、心の中で申し訳ないと謝っておきました。

もう随分前のことですが、大学を卒業して会社に勤めていた頃です。どこに行く時だったのでしょうか、午後の

空いている電車の吊革につかまって、窓の外をぼーっと眺めていると、ふいに二つ程離れた所に立っている男性二人の話し声が聞こえてきました。きっとその駅から乗ってきたのでしょうか。ガラガラに空いている電車だったので、聞くともなしに耳に入ってくる会話でした。でも、すぐに「あれー、長崎の人だ」と私は思ったのです。そして次の瞬間には、「知ってる声だ」と思いました。思わず振り向いて見ると、何と演劇部の先輩のFさんでした。卒業されて以来5年ぶりくらいだったので、思いもかけないところでの出来事に、とつても徳をしたような気がして、その日一日ハッピーな気分だったのを覚えています。それも、これもみんな、私の長崎弁への愛着のたまものではないでしょうか。

回りの皆さんからひんしゅくを買っても、子供たちに呆れられても、自分自身では切り替えがへたで、融通のきかないところが、それなりに可愛いじゃないかと思っています、40才になったばかりの今日この頃です。



◇ 厄年過ぎて思うこと ◇

(株)エッグプランニング 手塚 律子(16回卒)

近頃、職場で年長者に「手塚さんの年頃の女性は・・・」と他人の例を引き合いに出して「自分本位で、恥知らずで、チャッカリしてて・・・」というようなことを言われる。これに「したたか」という形容詞がつけば、もう怖いもの無しである。とはいえ、他人のこれ見よがしなアテコスリさえ、シラッとかわせる四十女の「しぶとさ」には、まだ遠い。

三十三歳、後厄も終えた現在、人生の楽しさ、面白さを知り染めし今日この頃。思えば二十八歳、悲壮な覚悟で長崎を離れる時にはこのまま独り「人並みの幸福」をあきらめて生きていこうなどと考えていたのだから笑っちゃうのである。結果的には、それ以降の人生の方が遙かに充実した、満足できる暮らしぶりだったことを思うと、それ迄考えていた「人並みの幸福」とは何だったの

だろう。

人生とは、登山に似ている、あるいは長い旅路のようだとか言われるが、体験してみないと分からないことがそこかしこに待ち構えている。仕事の面白さも、多少分かるようになるまで時間は要ったが、一度知ると「やめられまへんな」である。

丁度厄年の年には、いろいろ上手くいかない事もあり、体力の急速な衰えを感じ、胃に筋腫が出来て大学病院にも通った。自分の精神的な弱点を見直すために、自己改革ノートをつけたりして思い悩んだりもした。二年程不安定な次期を経て、やっと三十三歳の自分と折り合いをつけてように思う。なにを大層な先輩諸氏に笑われそうだが、七転八倒した揚げ句、現在しみじみ幸せなのである。自分の限界を知らされる齢になり、初めて人生の手応えを感じるようになったということか。

ナマイキと知りつつも、ようやく成人式を迎えた気分です、ここに報告いたしました。

◇ 酒の功罪 ◇

西脇病院 西脇 健三郎(2回卒)

酒の功罪、それは私たち人類が酒すなわちアルコール飲料を知り、そして口にするようになって以来私たちの間で語り合われ、語り続けられてきたことなのです。酒の功、それはまず宗教儀式的なかで人と神とを、また神々の前で人と人とを結びつける役割を果たす貴重な飲み物として取り扱われたことに始まります。

次いで私たちが酒(アルコール)のもつ循環促進、鎮静、鎮痛、抗不安といった薬理作用を経験的に知り、病を癒す薬として利用するようになり、さらにいつのころからか私たちの生活に潤いを与えてくれる嗜好品として多くの民族が、国家がその風土と習慣の中に取り入れるようになってきたのです。

そしてその功をより効果的にするために飲酒作法、酒の飲み方の建前を作りだしてきたのです。酒を飲むこと、そこには一つの文化が生まれているのです。飲酒文化、酒を飲む文化。それはそこに住む人々の生き方、とりわけ精神生活に多大な影響を与えてきたと言っているでしょう。

一杯の酒を飲むことで、そして酒がくみかわされるなかで愛が語られ、新しい思想が生まれ、さらには天下国家が論じられ、国を動かす約束ごとが決められてきたと言っても過言ではないのです。

では酒の罪、それは酒の功と対立するものでしょうか。いや罪は功の延長線上にあると考えたほうがよさそうです。とくに「送別会」、「歓迎会」、「仕事の打ち上げ」などと理由をつけて毎日でも酒とかかわるハレの時、祭り事を行える現在。そして昔はきつと薬として重宝がられていた酒、それを毎日でも手軽に飲酒出来る現在。量的にいった功が適量ならその延長線上にある大量飲酒、つまり罪を生み出す量を飲むことが、いつでもだれでも可能なのが現在なのです。

そんな中で私たちは酒の飲み過ぎがよくないこと、それを二日酔いの苦しみなどで体験的に知っているのです。また大量飲酒の結果起きる体の障害、生活の破綻などについても大酒飲みの人ほど関心が高いようです。「わかっているんだが、つい飲みすぎて」といったなげきをよく耳にします。そう、私たちはわかっているのです。な

のになぜ、私たちは酒の功の世界から罪の世界へとしばし足を踏み入れるのでしょうか。それは酒がもたらす酔いがそうさせるのではないのでしょうか。

そこで、酒が人の心に酔いをもたらす作用について少し触れてみたいと思います。

人間の行動を支配している大脳皮質は人間らしい情感、理性を支配している新しい皮質と、人間の生存に必要な行動、つまり動物的、本能的な行動に関係している古い皮質からなっています。

私たちが酒を飲み、そしてアルコールが脳に達すると、まず新しい皮質を麻痺させます。ですから新しい皮質の働きが鈍くなり、理性などといった高等な機能が低下してくるのです。そうなるまで新しい皮質にコントロールされていた古い皮質が野性的な、本能的な感情、行動が頭をもたげてきます。そんな時の私たちは社会の規則とか規律から開放され、くつろいだ楽しいほろ酔い気分となっているのです。

さらには酔いがすすむと古い皮質も麻痺して事故を防衛する本能すら失った、酔いつぶれた状態になるのです。そしてそんな酔い方を繰り返し求め続けることで依存性が生まれ、体と心の荒廃を招き生存すらおびやかすことになるわけです。ではなぜ、人は時にそんな酔いまで求めようとするのでしょうか。

豊かになったといわれている現在、しかし一方ではその豊かさを支える社会のシステムは複雑となり管理的になっています。そんな中で私たちの心は磨耗してきており、楽しい雰囲気、ゆったりした気分になれる一時が必要だとだれもが感じるようになっているのです。そんな一時を酒のもたらす酔いは容易に可能にしてくれます。そして時に現実のつらさ、苦しさを忘れたらいいといった心が強くなると、私たちはそれが体の障害だけでなく心の荒廃をも招くことを知りつつ、酒の酔いを求め続けようとするものなのです。

たしかに私たちは豊かな精神生活を送るためにくつろぎの一時を必要としているのですが……。そこで心掛けて頂きたいのです。くつろぎの時を得る術を多く身につけることを。そして酒のもたらす酔いはその多くの中の一つであるといった理解を持つことを。「酒びんの中に、不満ある者は慰めを、臆病者は勇気を、そしてはずかしがり屋は自信を求めてゆく」—ザミエル・ジョソナー。

〈 会費納入のお願い 〉

本誌発行の諸経費、及び長崎南高関西同窓会の運営費として、年会費(¥2,000)を同封の振込用紙にてお振り込み頂きますようお願いいたします。尚、総会参加予定の方は参加費に年会費が含まれますので振り込みの必要はありません。

◇ 依存の中から自立を ◇

近大工学部教授 在永末徳(2回卒)

新聞記事を広げれば、“いじめ”“体罰”“自殺”と、子どもを取り巻く悲惨な記事に事欠くことはない。高度成長を遂げた経済大国日本、バブル崩壊後もどうやらその裏側で、精神的・構造的ゆがみを、未来を担う子どもや青年たちに大きな“付け”として残してしまったようだ。私は現在、近畿大学工学部に勤務している。専門は建築学であるが、赴任して10年、学生委員として学生生活の諸問題に取り組んだ一例をここで紹介してみよう。

今、話題の“親泣かせの原理運動”(統一教会)が近畿大学にも上陸している。真面目で素直で優しい息子や娘が原理運動に染まったとき、誰もが驚き、深刻に悩む。人格は破壊され、まるで別人のように変貌してしまう。時には親を“サタン”とまで罵る。それでも、何故青年は原理運動に かれていくのか。洗脳されていく学生の姿を見ると、現代社会の構造的ゆがみに影響を受けていると知りながらも、やはり家庭における“子育て”に疑問を持たざるをえない。

言うまでもなく、学歴社会・受験体制という点数万能主義が謳歌する現代社会生きる子ども達は、自らの適性な能力とは無関係に少しでも良い点数をとることが自分の将来のためであると教えられ、唯々、自分のためだけに小さい頃から追い詰められた思いで生き抜いてきた。しかし、原理運動に染まった学生に共通に言えることは、真面目で素直で優しい子どもであり、一度も反抗期を経験したことのない子どもである。それだけに、真面目に生きることを“ネクラ”と笑いとばし、居直る“ネアカ”にもなれない。しかも悪いことには、“疑う”ことがで

きないことにある。考える時間があったいないほど、覚えるだけの教育の中で育ったことを考えると無理ないことかも知れない。家族は、社会生活の中で最小の単位である。日常生活のなかでの様々な悩みや相談は家族だから出し合えるし、助け合い、依存し合いがあるからこそ子ども達は安心して成長するものである。もしこうした環境が、家族ちないとしたら最も惨めなのは子ども達である。このことは別居家族を含めた世にいう崩壊家庭を意味するものではない。逆に、日常どこにでも見受けられる家庭、平和で幸福そうに見える家庭にこそ大きな落とし穴がありそうな気がする。家庭における親の過干渉、過度の期待感、更には全く逆の放任主義は、追い詰められた子ども達に苦痛と不安を募らせ、家庭と言う安住の地を奪い取ってしまう。これでは、本来、寂しがり屋ではあるが孤独を愛することのできない子ども達を、更に孤独と焦燥の中にのめり込ませてしまい、彼らをして決して自立の方向に向かわせない。依存=安住=安心感と自立=巣立ち=勇気とは相反するカテゴリーかも知れない。しかし、子ども達が真に自立し、巣立ち行こうとする勇気は失敗をも許してくれるという安心感、なんでも依存出来るという安住の地があってこそ生み出されて行くものだと思う。誰もが通る反抗期を一度も経験せず育った子どもは不幸である。反抗期は自立への試みであろう。それを受け入れなかった家庭環境、反抗期の無かったことも気にせず、“素直に育った”と喜ぶ家族、これほど惨めな家庭はないだろう。それでも子ども達は、自立への道を求めようとしている。

私は原理運動との係わりを通して、自立できずにもがいている学生の多いことを教えられた。一見矛盾するが、“依存の中から自立を!”を基本に据えて、教育することの大切さを学んでいる。皆さんも一考を!

各地同窓会情報

長崎南高同窓会本部

〔総会〕30周年記念総会 平成6年8月12日(金) 18:30~ ホテル「ニュー・ナガサキ」
〔事務局〕事務局長 入江友規 ☎850 長崎市鍛冶屋町6-11 TEL 0958(27)6397(宅) 0958(25)5151(勤)

長崎南高関東同窓会

〔事務局〕事務局長 松本浩一郎 ☎143 東京都大田区南馬込3-28-9 TEL 03(3773)0345(宅)
〔会報誌〕長崎南高関東同窓会報「From South Vol. 2」発行

長崎南高福岡同窓会

〔事務局〕事務局長 岩本洋一 ☎810 福岡市中央区赤坂1-11-13
大福ビル6F 岩本法律事務所 TEL 092(712)4081(勤)

長崎県人会

〔事務局〕大阪市北区梅田1-3-118 大阪駅前第一ビル8F TEL 06(345)3187 FAX 06(341)0312

◇ 部活便り ◇

前号に続き、後輩達の部活動の近況を報告します。

◁ 部員数 ▷

体育部

バスケット (88)	サッカー (63)	剣道 (43)	卓球 (22)
バレーボール (85)	ラグビー (49)	ハンドボール (39)	フリーテニス (20)
硬式庭球 (85)	軟式庭球 (48)	野球 (34)	体操 (17)
射撃 (78)	陸上 (47)	水泳 (32)	フェンシング (10)
弓道 (73)	バドミントン (46)	柔道 (27)	山岳 (6)

文化部

プラスバンド (64)	家庭 (27)	地学 (18)	地歴 (7)
放送 (49)	読書 (26)	J R C (16)	写真 (7)
コーラス (33)	美術 (25)	応援 (14)	将棋 (6)
英語 (29)	演劇 (22)	文芸 (9)	電工 (4)
茶道 (28)	物理 (21)	化学 (8)	囲碁 (0)
華道 (28)	生物研究 (18)	新聞 (8)	

◁ 主な成績 ▷

体育部 (平成6年度高総体)

団体	優勝	射撃エアール	ライフル	男子	個人	優勝	射撃エアール	ライフル	男子
							陸上・幅跳び		女子
	2位	射撃エアール	ライフル	女子					
		射撃ビーム	ライフル	女子	2位	射撃エアール	ライフル	女子	
		水泳		女子		水泳・100mバタフライ		男子	
	3位	弓道		女子	3位	水泳・200m平泳		男子	
		ソフトテニス				水泳・200m平泳		女子	
		ハンドボール				水泳・100m平泳		女子	
		フェンシング		男子		水泳・200mバタフライ		男子	
						水泳・100mバタフライ		女子	
	ベスト8	剣道		男子		水泳・200m背泳		男子	
		剣道		女子		水泳・100m背泳		男子	
		バドミントン		男子		水泳・400mRメドレー		男子	
		バドミントン		女子		水泳・400mRメドレー		女子	
		バスケット		男子		柔道・軽量		男子	
		射撃ビーム	ライフル	男子		陸上・400m		男子	
		ラグビー				射撃ビーム	ライフル	男子	
		サッカー							
		山岳							
		水泳		男子					
		テニス		女子					

NHK杯地区予選

優勝	野球部	2回戦	1-0	対瓊浦
		3回戦	6-0	対西彼杵
		準決勝	8-5	対南山
		決勝	9-2	対長崎工

放送	全国高校放送コンテスト長崎県決勝大会	・アナウンス部門	優秀賞
		・朗読部門	優秀賞
		・ラジオ番組制作部門	優秀賞
		・創作ラジオドラマ部門	優秀賞
		・研究発表部門	優秀賞
	九州高校放送コンテスト長崎県決勝大会	・アナウンス部門	優秀賞
		・朗読部門	優秀賞
		・ "	優良賞
		・ラジオ番組部門	優秀賞
	全国高校放送コンテスト	・朗読部門	第3位
	"	・創作ラジオドラマ部門	第4位
	"	・研究発表部門	第5位
	全国高校総合文化祭	・朗読部門	奨励賞
	ブラスバンド	長崎県吹奏楽コンクール	金賞
	演劇	演劇祭地区大会	優良賞
生物研究	全国学生科学賞県大会	優秀賞	
コーラス	長崎県高等学校音楽コンクール		
	・声楽部門	銀賞	
	・ "	銅賞	
	・ピアノA部門	銅賞	
美術	長崎県高等学校総合文化祭美術展		
	・絵画の部	優秀賞	
	・ "	優良賞	

長崎南高ラグビー部顧問 泉 正二

伝統ある長崎南ラグビー部も、18回生の高総体優勝以来14年間、残念ながら決勝進出すら達成していません。現在、第4代監督の下村（17回生）を中心に練習に励んでいます。去る2月の新人戦、6月の高総体ではいずれも準々決勝で西陵高校に惜敗しました。また、正月の花園大会も18回生が最後の出場でした。最近ラグビースクールが増え、各学校とも経験者でチームを編成する中、その下地がない本校はほとんどが初心者からのスタートというハンディーを背負っています。加えて、最近の本県ラグビーのレベル向上の中、勝つことの難しさを痛感させられています。また新たなチーム作りが始まったばかりです。来年にむけて頑張りたいと思っています。

長崎南高演劇部顧問 大窪 愛子

放火後になると多目的教室から雄叫びが聞こえてきます。演劇の基本である発声—ここから彼らの部活動が始まります。発声が終わると、劇の練習に入ります。（まずオーディションでキャストを選び、台本読みを経て立ち稽古に入り、最後に通し稽古をして一つの劇が完成します。おとなしい生徒も、元気な生徒も、風変わりな生徒も演技しているときは皆一様に輝いています。）

一時は部員一人という苦難の時代もありましたが、平成4年には長崎地区大会で優勝し、県大会で優秀賞をとって活気づきました。その上昇気流に乗って、今年は男子十名、女子十名という大所帯になりました。特に前代未聞の男子二桁という人数の勢いで、今年は多様な劇に挑戦しようと張り切っています。演劇部は今燃えています。

これからも、『ながさきみなみ』の名を全国に轟かせるべく頑張ってください。ふれー、ふれー、み！な！み！

◇ 父と勲章 ◇

（株）ダン・エスピー 吉村 敏幸（2回卒）

先日、朝のラジオから1992年のオリンピックの飛び込み競技でアメリカに金メダルをもたらした選手が獲った金メダルを売りに出しているというニュースが流されていた。売る理由とは自分の夢の実現の為にまとまったお金が必要とのこと。—いかにもアメリカ的と思われるのは飛行機の操縦ライセンスの取得がその元金メダリストの夢だそうだ。名誉を金銭に替えるという行為は日本においては相当の罣慮と非難を覚悟しなければならない。例えば先日、離婚して週刊誌を賑わした平泳ぎの金メダリスト・鈴木大地が同じ事をやったら、それこそマスコミの恰好の餌食となる事だろう。新聞の投書欄には、スポーツと金銭・精神主義と現実主義等のテーマでかまびすしい限りであろう。もちろんアメリカのニュースもなお海を越えて日本まで伝搬してくるという事は情報を流す側が受け取る側になにかがかの感慨を、え得るといふ確信が存在するからニュースとして成立したのであろうが・・・。

ちなみに金メダルの売却希望額は25000ドル。約260万円であるそうだ。260万円が高いか、安いかわたまたかそれがかう夢というのにもかかものかと思われるが？彼を育てたコーチもメダルを売る事に対して格別反対もしていないらしい。むしろ彼の夢の実現に対して好意的なコメントが添えられていた。

広辞苑によればメダルの語は日本語で勲章、賞牌とあった。勲章といえば日経新聞(4/24)に春の褒章、叙勲予定者の名簿が政府の正式発表前に流出して、発表よりも10日前に受賞予定者のもとに贈答業者5社より祝いの品々の分厚いカタログが送られてきたらしい。商魂逞しい限りであるが、名簿漏洩ぐらいで経済活動の記事を主にする新聞の3段抜き扱いになるのも、平和なものである。仄聞するところによると、受賞者は相当さかのぼって法律違反の有無、納税状態等が調べられるらしい。

私の勲章についての思い出は1950年代の半頃、よく繁華街のはずれあたりで佇む傷痍軍人の白いうすい胸に鈍くひかる軍人勲章と、私の父の勲章の事である。いつ頃からか街角に立つ白衣の軍人さんもすっかり姿を見かけなくなった。

36、7年前の我が家にも勲章が3つか4つあった。私の父は昭和17年2月シンガポール陥落時、ジョホールの塹壕で負傷して呉陸軍病院に昭和18年10月まで入院していた。昭和19年に再招集を受けて昭和21年鹿児島に復員してきた。その父の足の脛には直径2cm位の野砲破片の貫通傷の暗い肉の穴があった。又広い背中には昭和29年2月、長崎大学病院にて肺に残った破片の摘出手術を行ったあとが40cm程に大きなむかでか遺うように残っていた。勲章が戦功をあげたものか、傷痍軍人勲章なのか今ではわからない。

まだ1950年代には戦争の名残をとどめた品々がこの家庭にもあった事と思う。我が家のタンスにも国民

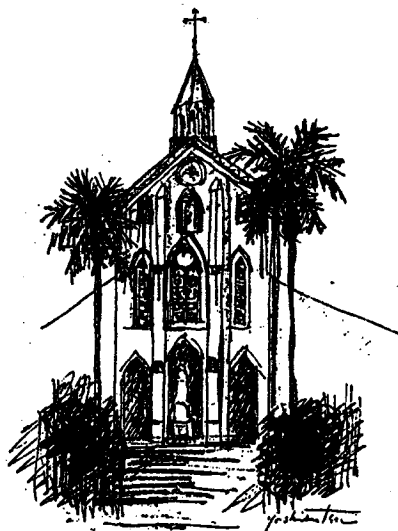
服やら国防色のサージの軍袴や菊の紋の金具がついた黒皮のベルトやらがきれいに整理されて残っていた。確かごぼう剣もあったと思う。そして勲章は紺のビロードがしかれた、小さい桐の箱に入っていた。

あれは小学校3年か4年頃のでき事と記憶するのだが、ある日近所の悪童を我が家に呼び込んで、家にあった勲章を売ったか、あげたか、又はなにかと交換したか、とにかく3つか4つの勲章を全部彼らに進呈してしまったのである。もらった方の親の1人がびっくりして問いただし、夕刻に勲章を返しに来たのである。当時の私の父はなにかにつけ相当に怖い存在であった。勲章が父の身体の傷痕の何らかの代償であろう事は子供心になんとか解かっていた。どなられるか、悪くするとゲンコツの1つや2つは覚悟していたのである。しかし、その夜父からはなにも言われなかった。又翌日も小言ひとつなかった。ただそれ以来、勲章は二度と私の目につく事はなかった。国民服や軍袴もいつのまにやら処分されてしま

った。日本人は勲章・褒章のたぐいには思いのほかの心情を託する。古くは戦前の教科書にえがかれた死んでもラッパを話さなかった木口古兵。戦中では新聞等で政府によって大々的に流布された爆弾三勇士。いづれも明治に制定された軍人最高の金鷄勲章が下賜されたはずだ。戦後は打ちひしがれた日本人に希望の灯を与えてくれた古橋広之進の金メダル。いつの世もその時代のドラマとして国民の希望・夢が国家によってメダル（勲章・褒章）に収められてきた。日本人の基底にはキョソネ描くところの明治天皇肖像画の胸輝くあまたの勲章をあがめる気持ちがちが連続と継承されているのだろうか？

3年前ジョホール水道に架かる橋を徒歩にて渡ってきたが、大きな道路の片側は白いパイプラインと銀色の列車が並行して走り、中央を日本車が賑やかに行きかっていた。南の暑気の下、屈の海には駆逐艦が1艘碇泊していた。

父も逝去して今年の8月でちょうど満10年になる。



平成5年度会費納入者

回	会 員 名	旧姓	回	会 員 名	旧姓	回	会 員 名	旧姓	回	会 員 名	旧姓																						
1	中八森中古小坪	彦義夫一藏隆子 宣重利雅源弘直 村尋田山川川井	5	中安池大楠 ☆中安池大楠 ☆古吉山宮木大岸佐高竹彦松水牧山山	河野村 岸高 永岡 森田 陣内	9	前中平折山佐永藤 ☆中平折山佐永藤	藤 末吉 田 嘉勢 江口 和泉	13	熊岡尾加前山吉 ☆森原永井井田田 ☆上鳥長村吉	小倉ノ瀬 山下 浜畑																						
2	高前片桑高吉田中松高鹿中甲阿秋石室八脇	濁昭男吉 晃幸幸剛 石原江原谷村原野本橋谷村斐部定井田尋山	6	上宮千川近井中結久木岩高河荒岸坂小中平山立 ☆金倉木大池小神高田田山野山吉	口尾岡浦 出時吉三 鶴田 原古 井島利 石橋	10	倉木森下川山藤大小河木古永八山小浅荒井今小下畑森大山山渡 ☆倉木森下川山藤大小河木古永八山小浅荒井今小下畑森大山山渡	久保田 吉野野谷 早川 森川 岡道藤仲岡原 岡本藤辺 楠木川 柿原 川原 折田	14	☆金本藤石 ☆板中酒石原 ☆松田奥金高手垣 ☆高前山吉 ☆浜中馬 ☆植能	15	博郎治美 一惠真 島中平子橋塚田 橋田田岡 崎村場 田村吉中村 安達 草登 八空 成木山	16	島中平子橋塚田 橋田田岡 崎村場 田村吉中村 安達 草登 八空 成木山	17	高前山吉 橋田田岡 崎村場 田村吉中村 安達 草登 八空 成木山	18	崎村場 田村吉中村 安達 草登 八空 成木山	20	田村吉中村 安達 草登 八空 成木山	21	安達 草登 八空 成木山	22	草登 八空 成木山	23	八空 成木山	25	成木山	29	木山	30	山田	本多 牛島 今村 富永 宮地 崎下
3	川酒林 ☆川酒林 ☆松山相今岩木高杉橋山	崎井 永下島井崎下谷山崎内	7	☆金倉木大池小神高田田山野山吉	赤場口川 加治屋 井口 石寄 近藤 浦田 松尾	11	☆石坂長青野竹 ☆石坂長青野竹	12	☆松																								
4	三佐川松山增伊田松板松吉山村太由椋鈴高永浜前	宅藤井島下田藤代尾垣尾岡本田田布木江橋野口田	8	☆東里																													

☆ 平成5年度総会出席者

平成5年4月1日~平成6年3月31日納入分

故郷は
遠くにおいて
想うもの
語らうもよし
また
憶い深けるもよし

編集後記

- 今回も「マンネリ」との闘いになりました。いろんな企画・アイデアは出るものの、なかなか「いしだたみ」に盛り込むまでには至りません。それと原稿の依頼・回収が思うようにいかず、発行予定日をはるかに過ぎてしまいました。最後には決まって「継続は力なりで、発行できただけでもよかき！」で自ら納得する編集部でした。

- T. K -

【編集部よりのお願い】

- 「いしだたみ」の原稿を募集しています。執筆・エッセイ・短歌・俳句・グルメ記事等なんでも結構です。投稿される方は事務局まで郵送かFAXにてお願いします。
- 会員の所在把握に大変手間がかかっています。関西から出られる方、また関西へ移ってこられた方をご存じの方も事務局までご一報願います。

長崎南高関西同窓会事務局
〒530 大阪市北区西天満3-6-3 西天満福岡ビル4F
松本法律事務所内 松本 藤一 (2回卒)
TEL 06(365)6445(代) FAX 06(365)7081

発行：平成6年7月